

担 当 部 課 名	教育委員会 教育指導課 教育指導グループ		
件 名	新・守谷型カリキュラム・マネジメント ～夏季休業日延長を「チャンス」に、教育課程をアップデート～		
新規・継続別	新 規		
期 間	2026 年 4 月 1 日から開始		
場 所	守谷市立小中学校	TEL	(代表) 教育指導課 0297-45-1111
目 的 又 は 趣 旨	守谷市は、近年の酷暑から児童生徒の健康・安全を確実に守るために夏季休業日を 5 日間延長します。休業日延長に伴う授業時数の確保を、不足する時数の補充に留めることなく、 <u>次期学習指導要領を見据えた「新・守谷型カリキュラム・マネジメント」</u> としてアップデートします。		
内 容 (方法, 対象者, 数量等)	1 夏季休業延長に伴う授業時数の状況 (1) 中学校では、現行の教育課程「週 3 日の 5 時間授業」では 27 時間分の不足が生じるため、水曜日を 6 時間授業とすることで授業時数を確保する。 (教育活動は年間 40 週程度で実施、13 時間 (40-27=13) 程度増と試算) (2) 小学校では、現行の教育課程 (モジュール学習*での 15 分×3 コマ) で授業時数に余剰が生じているため、これまでと変わらず「週 3 日以上 の 5 時間授業」を継続する。 2 アップデートする教育課程の具体 (1) 小中学校ともに、生成 AI を効果的に活用し、「探究的な学び」の土台となる力を育む「さきがけタイム (仮称)」を設定する。 (2) [中学校の例] 不足分を補う 1 コマ (水曜 6 校時) に設定 [小学校の例] 週 5 コマあるモジュール学習の 2 コマ分として設定 (3) 「さきがけタイム (仮称)」で身に付けた力を、各教科等の「探究的な学び」と往還させ、児童生徒一人ひとりの学力の向上につなげる。 【好事例】 黒内小学校・6 年生「ゴミ問題対策プロジェクト」: 生成 AI を効果的に活用し、課題を見だし、課題解決に向けて提案、学び続ける姿 3 予想される効果「学びの質と学力の向上」 生成 AI を適切に活用し、論理的な思考力や読解力・表現力するスキルを身に付けることで、より高度で深い学びを展開することができる。		
予 算 額 又 は 経 費	○2,653 千円増額 (「児童クラブ」委託料) ○8,574 千円減額 (光熱水費 3,450 千円、介護補助員報酬 3,586 千円、学校用務員報酬 283 千円、スクールバス運行費用 1,012 千円、通学補助員謝礼 243 千円) ※学校給食費については、国の施策を踏まえ現在検討中		
特 記 事 項	(モジュール学習*) 通常、授業は 45 分や 50 分という「1 単位」をベースに構成されるが、モジュール学習はこの単位時間をさらに細かく分割し、10 分～15 分程度の短い時間 (モジュール) を組み合わせて行う学習形態のこと。		